

ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト

参加規約

2007 年度 1.0 版

本書は、ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト（愛称：ET ロボコン）の参加規約書です。ET ロボコンは、リアルタイム組込みソフトの開発技術者、学習者に UML などによる組込み開発技術の初等的な教育機会、本格的な応用への手引き提供を目的として実施します。ET ロボコンは先進的な技術者諸氏の献身的なボランティア・ベースの活動協力により開催・運営されています。心から感謝します。また、参加者は教育機会を共有し同じテーマに挑戦する仲間であるとも言えるでしょう。参加にあたっては、相互理解の上でお互いに敬意を持って活動してください。

2007 年 4 月 3 日

ET ロボコン運営委員長 小林 靖英

1. コンテストの内容

(1) コンテスト部門

- ・モデル部門： UML 等で記述された、走行競技システムの分析、ソフトウェア設計モデル内容の評価、審査。
- ・競技部門： 自律型ライントレース・ロボットの走行競技による性能。
ロボットおよびバッテリーは ET ロボコン指定のものとしします。

競技種目、審査項目は別途技術委員会、審査委員会から呈示される規約をご参照ください。参加に必要な機材（走行体、開発用コンピュータ等）およびモデリング用ソフトウェア等は、参加チームにて準備してください。競技会本番時の走行体バッテリー（乾電池）は運営事務局より配布します。

モデル部門と競技部門の両方への参加が必須です。

競技規約、審査基準にあるものを満足してください。

競技部門のみ、または、モデル部門のみの参加はできません。

(2) コンテスト方式

3つの地区予選会を実施します。昨年までは地区予選はありませんでしたが、より多くの参加機会をご提供できるよう、今年から地区予選実施としました。

全ての参加チームはいずれかの地区予選会に参加します。

地区予選会にて、優秀と認められるチームを選抜します。選抜は、競技部門を主として地区予選実行委員会にて決定します。

地区予選会からの選抜されたチームは、本選に参加していただきます。

各地区予選より選抜された参加チームにて、本選（選手権）を行います。

本選にて、優秀と認められるチームを選抜します。選抜は、モデル審査と走行競技の結果から本部実行委員会にて決定します。

選抜されたチームはチャンピオンシップ大会に参加していただきます。

本選からの選抜チームによるチャンピオンシップ大会を開催します。

2. モデル評価と審査

(1) 地区予選におけるモデル評価

以下の2点実施します。

コンセプトシート、モデル図、サマリーモデル図（下記、参照）を会場掲示します。参加チーム相互にて、優秀であると評価するモデルへの投票を実施します。

投票方法詳細は、別途運営事務局より指定されます。

参加チームから提出されたサマリーモデル図を本部審査委員会にて評価します。これは、ET ロボコンの目的でもある、モデル開発をしていること、の確認が狙いです。

モデル開発せず、走行競技のみ参加と見られるチームは、走行競技はエキシビジョン（参考）扱いとすることがあります。

(2) 本選におけるモデル審査

本選参加チームについて、コンセプトシート、モデル図、サマリーモデル図の内容を審査します。

(3) チャンピオンシップ大会におけるモデル評価

検討中。

(4) 選抜チームにおけるモデル修正

予選から本選、本選からチャンピオンシップ大会に選抜されたチームは、締切期限内において、モデル内容を変更することができます。実装変更となる場合であれば、実装内容と合致したモデルを提出してください。

(5) 地区予選での提出物

以下を電子媒体に記録したものを提出してください。

コンセプトシート：開発コンセプトを表現した資料。指定フォーマット。

A3版1枚で、別途指定内容が呈示されます。

モデル図：フリーフォーマット。

A3版1枚以上5枚以内とします。

サマリーモデル図：モデル図全体を要約した内容。フリーフォーマット。

A3版1枚。

ETロボコン 2006 の審査委員は、日本語を母国語とするメンバーで構成されていますので、考慮してください。電子媒体への記録形式（ファイル形式、ファイル名等）は、運営事務局から指定されます。

上記 ~ と同じ内容の印刷物（紙媒体）を提出してください。

A. 会場掲示用 1部

競技会場に掲示されるコンセプトシート、モデル図、サマリーモデル図

B. 評価・ワークショップ用 1部

評価およびワークショップで使用するためのコンセプトシート、モデル図、サマリーモデル図

電子媒体内容と印刷物が同じであるかどうかは、運営事務局では確認できませんので、各チームにて版数管理等により確認したものを提出してください。

(6) 本選での提出物（地区予選から選抜されたチーム）

モデル審査用に以下を電子媒体に記録したものを提出してください。

コンセプトシート：開発コンセプトを表現した資料。指定フォーマット。

A3 版 1 枚で、別途指定内容が呈示されます。

モデル図：フリーフォーマット。

A3 版 1 枚以上 5 枚以内とします。

サマリーモデル図：モデル図全体を要約した内容。フリーフォーマット。

A3 版 1 枚。

ET ロボコン 2006 の審査委員は、日本語を母国語とするメンバーで構成されていますので、考慮してください。電子媒体への記録形式（ファイル形式、ファイル名等）は、運営事務局から指定されます。

上記 ~ と同じ内容の印刷物（紙媒体）を提出してください。

A. 会場掲示用 1 部

競技会場に掲示されるコンセプトシート、モデル図、サマリーモデル図

B. 審査用 n 部（n は、締切前に運営事務局より指定されます）

審査員が審査するためのコンセプトシート、モデル図、サマリーモデル図

電子媒体内容と印刷物が同じであるかどうかは、運営事務局では確認できませんので、各チームにて版数管理等により確認したものを提出してください。

電子媒体、印刷物とも審査に使用されます。

(7) チャンピオンシップ大会での提出物（本選から選抜されたチーム）

検討中。

(8) 提出の締切

地区予選

地区予選会の 7～10 日前を予定。期日確定次第、運営事務局よりご連絡します。

電子媒体、印刷物とも、締切日時までに運営事務局指定場所に提出してください。締切までに提出されない場合は、評価・審査の対象となりません。

本選

7 月 3 日を予定。期日確定次第、運営事務局よりご連絡します。

電子媒体、印刷物とも、締切日時までに運営事務局指定場所に提出してください。締切までに提出されない場合は、評価・審査の対象となりません。

チャンピオンシップ大会

検討中

3. 表彰

- (1) 地区予選
モデル評価（相互投票）および競技部門の上位
- (2) 本選
モデル審査および競技部門の上位
- (3) チャンピオンシップ大会
競技部門の上位
- (4) 各大会において、審査員が特に表彰に値すると認めたもの

4. 参加資格、参加費

- (1) 参加資格
高校生以上。組込みソフトウェア開発および同技術教育に興味を持っている方で、他の競技者との意見交換、情報交換が可能であること。ただし、未成年の場合には保護者または成年責任者による参加同意と付き添いが必要です。
参加はチームでも個人でも可とします。
- (2) 想定参加者：
 - ・企業におけるソフトウェア開発技術教育としての参加
 - ・ソフトウェアエンジニア個人またはエンジニア同士での技術力向上へのチャレンジ
 - ・大学におけるソフトウェア・エンジニアリング教育としての参加
 - ・高校、高専、専門学校等における、コンピュータ、ソフトウェア技術教育としての参加
- (3) 参加費：

参加カテゴリ	参加者チーム		参加費
企業	企業		105,000 円（税込み）
大学	大学、大学院		42,000 円（税込み）
短大	短期大学	3年制以上の学科	42,000 円（税込み）
		2年生までの学科	21,000 円（税込み）
専門	専門学校	3年制以上の学科	42,000 円（税込み）
		2年生までの学科	21,000 円（税込み）
高専	高等専門学校	専攻科	42,000 円（税込み）
		本科	21,000 円（税込み）
高校	高校		21,000 円（税込み）
個人	個人		21,000 円（税込み）

参加決定後に参加辞退されても、参加費はお返しいたしかねますので、ご了承ください。
参加費は運営事務局指定口座へ振込となります。手数料は参加者にてご負担ください。

個人の扱いについて

個人の参加資格は、技術者・教員・学生が個人で（または個人の集まりで）参加するための資格です。企業、大学等の団体での資格ではありません。

個人参加の場合、以下とさせていただきますのであらかじめご承知ください。

- ・所属名は公開されない。チーム名に所属名を含むことはできない。
- ・参加費等の領収書発行時、宛名は個人名。
- ・配布される全チームのモデル、および技術教育資料の利用は参加者内での利用に限る誓約書を提出していただきます。

企業、大学等で、所属名を公表したくない場合は、参加資格は企業、大学等のままで、所属名を公開しない手続きとします。

(4) 参加チーム数

2007 年は、開催規模によりおおよそ以下の参加チーム数を見込んでいます。

関東（東日本）地区予選 80

東海（中日本）地区予選 30

関西（西日本）地区予選 40

合計 150

本選（選手権大会） 50

各地区予選からの選抜チーム数は、地区予選参加チーム数により按分

チャンピオンシップ大会 25

(5) 参加地区の決定および抽選と優先

各地区予選会はその運営規模により予定参加チーム（受け入れ可能）数が異なります。予選会参加地区は、地域性を考慮した上で実行委員会にて振り分け決定します。おおよそ、神奈川以東を関東（東日本）、滋賀以西を関西（西日本）、その間を東海（中日本）と想定していますが、各地域の申込み数により変動することがありますので、あらかじめご了承ください。これは、以下の抽選となるような場合をなるべく避けるためです。

上記によっても、予定する参加チーム数を大きく上回る参加申込みがあった場合には、同一企業・団体・学校で複数チームのお申し込みをされている場合、チーム数を減らしていただくようお願いすることがあります。また、実行委員会にて厳正な抽選により参加チームを確定させていただきます。

抽選となった場合でも、以下のチームについては優先参加とします。

社内ロボコンや有志による自主ロボコン（各 10 チーム以上）実施、そこから選抜されたチームの場合。該当ロボコンは ET ロボコン仕様に準拠したものであること。

参加申込み時にお知らせください。実施内容について実行委員会より問い合わせさせていただきます。

ET ロボコンの主催および協力団体からの参加チーム

スポンサーからの参加チーム

5. エントリーシート

- (1) 参加チームは、指定のエントリーシートに必要な情報を入力し運営事務局に提出してください。
- (2) 参加チーム名、所属、地域については、ET ロボコン公式データとして取扱い、公表するものとします。
- (3) 各掲載制限上、チーム名の文字数は事務局より制限させていただくことがあります。
チーム名、所属名は、公序良俗に反しないものとする。個人参加の場合、各種掲示情報に所属（会社名、学校名等）は表記されません、また所属をチーム名とするといったこともおやめください。

6. 連絡手段と内容

- (1) 運営事務局と参加チームとの連絡は、電子メールおよび電子メールアドレスを登録したメーリングリスト機能を主に利用し、電話およびFAXを副として利用します。
メーリングリストは、全参加チームが登録されるもの（ET ロボコン 07ML）と各地区参加チームが登録されるもの（ET ロボコン 07 地区 ML）があります。逐次確認できる電子メールアドレスを参加チームは確保しておいてください。
なお、ET ロボコン 07ML には各チーム最大 2 つのメールアドレス登録とします。これは、チームあたり大量人数の登録管理は事務局負担大であること、および登録者のアドレス変更発生時に配信エラーが発生し、その対処に事務局およびサーバ管理にて苦慮することからです。また、上記連絡用の電子メールアドレスには携帯電話を受信機としたものは登録しないでください。添付ファイルによるやりとり不自由があることと、配信エラーが多くなるのが理由です。
- (2) 準備段階、競技当日における参加チームへの各種伝達事項は適宜、運営事務局ならびに ET ロボコン実行委員から発信されますので、それに従ってください。注意点や締切等については特に遵守してください。

7. 教育にフォーカスした運営

- (1) 各地区ごとに、参加者への技術研修会を実施します。
制御要素技術教育 1 回、モデリング基礎教育 1 回
参加者は上記技術研修会へ参加できます。会場等の都合により、参加可能人数は、各チームから原則 1 名です。
- (2) コンテスト前に、各地区ごとに本番コースによる試走機会を提供します。(2 回予定)
試走コースを使つての実走テストの場で、チューニングのヒントなどをつかんでいただくことができます。
- (3) 参加者がその後の教育に生かすことのできる素材として
 - ・全出場チームのコンセプトシート、モデル図、サマリーモデル図を収めた電子媒体を、コンテスト後に全ての出場チームに配布します。
 - ・本選出場チームのモデルに対して、審査員による評価コメントが付けられます。
- (4) 審査員による、モデル評価・審査内容および走行結果等からの分析、傾向、特筆事項等、今後の組込みモデリングの方向性を見いだすワークショップを開催します。
地区予選では 1 時間程度、本選では 1 日開催を予定しています。
- (5) ET ロボコン 07ML は、参加者、実行委員による様々な意見交換、技術交流の場としても活用

されます。

8 . 著作権、他

- (1) E T ロボコン参加のために新たに開発したソフトウェアの著作権は、開発者に帰属します。市販のライブラリなどを組み込む場合には、その仕様と開発者を開示しなければなりません。(これは、第三者の著作を保護するための措置です)
参加チームが提出したコンセプトシート、モデル図、サマリーモデル図、および本選参加チームモデルへの審査員による評価コメントは、電子媒体で全参加チームに配布されます。参加した方の、準備段階から競技会当日にいたる過程でE T ロボコン実行委員会が撮影、録画した映像、音声や、モデル図など一般開示した技術情報と取材内容は、Web、雑誌などに掲載することができるものとします。
- (2) E T ロボコンの趣旨は、組み込みソフトウェアをモデルベースで開発できる技術者育成と技術の普及にあります。このためにE T ロボコン実行委員会などが学会、書籍などで競技者の著作を引用する場合があります。この際の引用元は、“ET ロボコン実行委員会”または”ET ロボコン 2007 資料集・実行委員会編”とし個別の引用許諾は省略します。ただし、技術資料には、チーム名と競技者氏名は記録しますが、所属会社名は記録しません。これは、モデル評価結果を誤って人事考課に用いるなどの誤用を防ぐ措置です。(所属掲載を許諾される場合は、この限りではありません)

9 . 個人情報の取り扱い

参加およびアンケート等により収集した個人情報は、主催者である(社)組み込みシステム技術協会及び運営事務局が有し、E T ロボコンがより一層参加者の皆様のご期待に添うための資料として、情報提供サービス/輸送・配送サービスに活用させていただくことがあります。また、収集した個人情報を第三者機関に提供することはありません。ただし、ET ロボコン会場および関連行事において、お名刺のご提供もしくはそれに準ずる情報のご提供をいただいた場合には、その提供先各社・団体に対する情報のご提供のご許可をいただいたものと判断させていただきます。

以上